

住まい確保支援事業実績数報告【令和3年度】

1 対象期間

令和3年4月1日～令和4年2月4日

2 事業実績

	高齢者	高齢 + 障害	障害者	ひとり親家庭	計
申込者合計 (= + -)	102	17	19	14	152人
情報提供事業申込	96	13	13	14	136人 (のべ143人)
紹介実施	53	4	7	8	72人
紹介物件数	162	5	14	33	214戸
成約件数	4	0	0	0	4件
伴走型支援申込	17	5	7	0	29人
調査継続中	3	2	2	0	7人
取り下げ	7	0	2	0	9人
成約件数	7	3	3	0	13件
(と の重複)	11	1	1	0	13人
成約件数合計	11	3	3	0	17件

(申込者の障害状況)身体障害18件、精神障害16件、知的障害4件(重複2件)

情報提供事業の実績を前年同時期と比較すると、紹介物件数が112戸から214戸へ増加し、一人あたり紹介件数は、約2戸から約3戸となった。一方、成約件数は前年同時期と同じく4件となっている。

伴走型支援において成約に至る日数は、平均でおよそ70日。最短で10日、最長で約150日であった。

3 年齢分布

	高齢者	高齢 + 障害	障害者	ひとり親家庭	計
30代以下	-	-	2	9	11
40代	-	-	5	2	7
50代	-	-	5	3	8
60歳～64歳	-	-	7	0	7
65歳～69歳	13	7	-	0	20
70代	50	6	-	0	56
80代以上	39	4	-	0	43
計	102	17	19	14	152

申込者の年齢分布は令和元年度から傾向は変わらず、
もっとも多い属性が高齢者世帯の70代であった。 (人)

4 世帯構成

	高齢者	高齢 + 障害	障害者	ひとり親家庭	計
単身(男)	36	6	8	-	50
単身(女)	49	3	6	-	58
2人以上	17	8	5	-	30
子が1人以上	-	-	-	9	9
子が2人以上	-	-	-	5	5
計	102	17	19	14	152

世帯構成の分布も令和元年度から傾向は変わらず、
もっとも多い属性が高齢者世帯の単身(女性)であった。 (世帯)

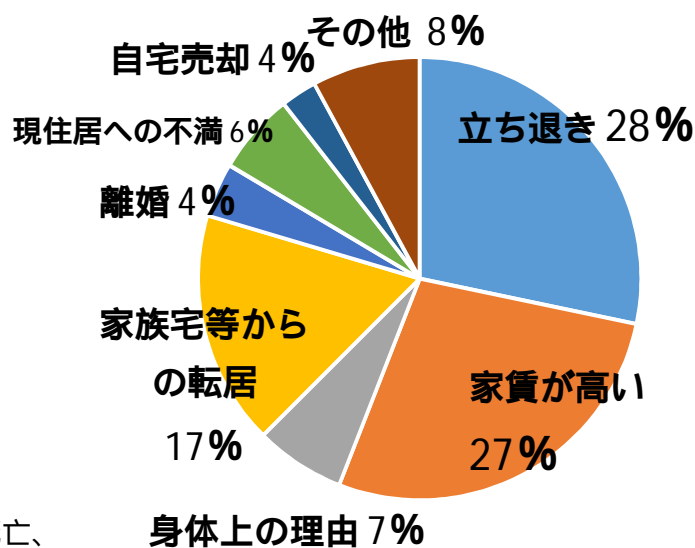
5 転居理由

(1) 全体

立ち退き	43
家賃が高い	42
身体上の理由	10
家族宅等からの転居	26
離婚	6
現住居への不満	9
自宅売却	4
その他	12
計	152

(人)

親族近隣への転居、家族の転出・死亡、
退院に伴う住み替え、通勤のため



令和元年度以降、初めて「立ち退き」が「家賃が高い」を上回った。

(2) 類型別

	高齢者	高齢 + 障害	障害者	ひとり親家庭	計
立ち退き	34	7	1	1	43
家賃が高い	27	7	5	3	42
身体上の理由	6	0	4	0	10
家族宅等からの転居	16	3	4	3	26
離婚	2	0	1	3	6
現住居への不満	4	0	2	3	9
自宅売却	4	0	0	0	4
その他	9	0	2	1	12
計	102	17	19	14	152

(人)

